

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

大阪豊中公演

2021 11 | 27 (土) 15:00開演 (14:30開場)

豊中市立文化芸術センター 大ホール

●主催: 特定非営利活動法人 日本音楽集団

●後援:  公益財団法人 日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

 ARTS for the future!

企画構成: 阪口夕山
演出: 元永 拓
制作: 久保田晶子

日本音楽集団
www.promusica.or.jp



日本音楽集団 ～大阪再来!～

日本音楽集団創立(1964年)後、初めての地方公演は、京都学生三曲連盟主催、また関西学生邦楽連盟主催の2公演(1969年12月)でした。それを契機に関西定期演奏会は実に13回も続きました。その後、諸般の事情により途絶えておりましたが、関西特別公演を2008年に開催し、大阪公演は今回で3回目と云えます。

今回は関西では未だかつてない大編成で迫力ある和楽器アンサンブルをお届けいたします。大阪初演の「二胡協奏曲」では、二胡ソリストに沈琳さんをお迎えし、また「子供のための組曲」では、和楽器オーケストラ邦楽合奏団「鼎」の皆さんと共演致します。このコンサートを契機に日本音楽集団が関西での復活宣言をしたいと思っております。是非、迫力あるアンサンブルをお楽しみください。

Program

(指揮) 稲田 康

1. 子供のための組曲 (長澤勝俊 作曲 1964年)

(尺八Ⅰ)原郷 隆/饗庭凱山 (尺八Ⅱ)田野村 聡/淵上ラファエル広志 (尺八Ⅲ)元永 拓/大賀悠司
(三味線)山崎千鶴子/穂積大志/守 啓伊子/二代目 三山貢正 (琵琶)藤高理恵子/熊田かほり(助演)
(箏Ⅰ)山田明美/喜羽美帆 (箏Ⅱ)三宅礼子/伊藤麻衣子 (十七絃)久東寿子/森 真理子
(打楽器Ⅰ)山内利一 (打楽器Ⅱ)白杵美智代

共演:和楽器オーケストラ邦楽合奏団「鼎」

(尺八Ⅰ)阿部保明/宮田好夫 (尺八Ⅱ)濱田大洋/武林正実 (尺八Ⅲ)麻植武志/高橋 創
(箏Ⅰ)河野紀子/岩下昌代/奥野明子 (箏Ⅱ)宿星節子/大原三沙/浅井和子 (十七絃)渡部志津子/細谷美恵

1964年日本音楽集団の第1回定期演奏会にて初演され、邦楽アンサンブルの黎明を告げた作品。五章からなる自由な組曲で、日本楽器を媒体として生き生きと子供の世界を描き出し、素朴な旋律と律動感あふれるリズムを持つ。

1. 軽やかにのびのびと
2. ゆったりとうたう感じで
3. 遊戯歌風におどけて
4. しずかに子守歌風に
5. 激しく律動的に

2. 二胡協奏曲 (長澤勝俊 作曲 1993年)

(独奏二胡)沈琳(客演)

(笛)あかる潤 (尺八Ⅰ)田野村 聡/饗庭凱山 (尺八Ⅱ)元永 拓/淵上ラファエル広志
(尺八Ⅲ)阪口夕山/大賀悠司 (琵琶)藤高理恵子 (箏Ⅰ)熊沢栄利子/伊藤麻衣子
(箏Ⅱ)桜井智永/三宅礼子 (十七絃)久本桂子/石井香奈 (打楽器Ⅰ)細谷一郎(助演) (打楽器Ⅱ)盧 慶順

1983年第10次海外公演が日本音楽集団、中国音楽家協会共催、文化庁助成により北京と上海において行われました。私は中国中央民族楽団との共演曲として「寿歌」を作曲、世界初演されたのですが、その際最も印象に残った楽器が二胡でした。中国の二胡と日本の胡弓との関係は簡単には論じられませんが、その発生の起源は同一とみる意見が多いようです。二胡の哀調をおびたなかにもマイルドな趣をふくんだ表現の豊かさ、そして速いテンポを自由に弾きこなせる運動性等、私にとって魅力あふれるものでした。二胡の集団との共演はその時以来の夢でした。

(作曲家・初演時プログラムより)

3. ディヴェルティメント (佐藤敏直 作曲 1969年)

(笛)芝 有維 (尺八Ⅰ)原郷 隆/田野村 聡/饗庭凱山 (尺八Ⅱ)阪口夕山/元永 拓/大賀悠司
(細棹三味線)穂積大志 (太棹三味線)山崎千鶴子 (箏Ⅰ)熊沢栄利子/三宅礼子/喜羽美帆
(箏Ⅱ)山田明美/桜井智永/伊藤麻衣子 (十七絃)久東寿子/久本桂子/石井香奈/森 真理子
(打楽器Ⅰ)盧 慶順 (打楽器Ⅱ)山内利一

1969年第10回定期演奏会において、横山千秋氏の指揮で初演された。

第1楽章は長短調のシステムが強く影響しています。その頃の和楽器に対する悩みが、私には今でも手にとるように判る部分です。第2楽章は教会旋法を意識して和楽器の可能性を探った跡があります。第3楽章で少し日本的な色彩が加わりました。いずれにしてもはじめての大合奏でしたので、手探りでの連続でした。それほど昔の作品ですが、いわゆる「邦楽」に対して、音楽に閉鎖的な印象をもっていましたので、何か開放感のある世界が描けないだろうか考えたことを覚えています。

(第159回定期“佐藤敏直氏からのメッセージ”プログラムより)

4. SF交響ファンタジー 邦楽器版

(伊福部 昭 作曲 秋岸寛久 編曲 2007年)

(笙)三浦礼美(助演) (箏)西原祐二 (笛Ⅰ)あかる潤 (笛Ⅱ)芝 有維 (尺八Ⅰ)原郷 隆/田野村 聡/饗庭凱山 (尺八Ⅱ)阪口夕山/淵上ラファエル広志/大賀悠司 (胡弓)帯名久仁子(助演) (細棹三味線Ⅰ)穂積大志 (細棹三味線Ⅱ)守 啓伊子 (太棹三味線)山崎千鶴子/二代目 三山眞正 (琵琶Ⅰ)藤高理恵子 (琵琶Ⅱ)熊田かほり(助演) (二十絃Ⅰ)熊沢栄利子/喜羽美帆 (二十絃Ⅱ)山田明美/三宅礼子 (二十絃Ⅲ)桜井智永/伊藤麻衣子 (十七絃Ⅰ)久東寿子/森 真理子 (十七絃Ⅱ)久本桂子/石井香奈 (打楽器Ⅰ)細谷一郎(助演) (打楽器Ⅱ)山内利一 (打楽器Ⅲ)白杵美智代 (打楽器Ⅳ)盧 慶順

伊福部先生は、東宝の特撮映画「ゴジラ」「宇宙大戦争」「三大怪獣地球最大の決戦」「怪獣総進撃」などのために書いた音楽を、ご自身の手によってコンサート用に「SF交響ファンタジー」という作品に編曲されています。その第一番を邦楽器版にアレンジしました。原曲の低音金管を中心としたサウンドは、邦楽器からは最も遠いところにあり、無謀なチャレンジかとも思いましたが、上手いけば新たな伊福部サウンド、新たな音楽集団サウンドが引き出せることと思います。邦楽器は音域が狭く、転調の苦手な楽器がたくさんありますので、原曲とは違った転調を何度も強いられましたが、それでも特に箏群は頻繁な押し手と、煩雑な調絃変えに悩まされるところもあり、アレンジも苦労しました。しかし、アレンジに携わっている間中、何とも言えない充足感、幸福感があり、それは演奏してくれるメンバーや聴いてくださる方々にも共有していただけるものと思っています。

(秋岸寛久・初演時プログラムより)

特定非営利活動法人 日本音楽集団



1964年創立。伝統的な日本の楽器である、箏・尺八・三味線・琵琶・胡弓・笛・小鼓・太鼓などの打楽器、笙・箏などの雅楽器による和楽器オーケストラです。和楽器数十名と指揮者による大合奏は迫力満点です。現在では、定期演奏会を中心に、全国各地での公演、教育機関での音楽鑑賞会、録音・放送・映画・演劇などさまざまな分野で演奏活動を行っています。海外では、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、中国、東南アジア、オーストラリア等、31カ国151都市で公演を実施。アイザック・スターン、ヨー・ヨー・マヤ、ゲヴァントハウス・オーケストラ、ニューヨークフィルとの共演を実現、海外でも高い評価を得ています。文化庁芸術祭大賞、第2回音楽之友社賞、レミー・マタン音楽賞、モービル音楽賞など、受賞歴多数。

◆メンバー(楽器毎五十音順)

笛
あかる 潤
遠藤 悠紀 ※
芝 有維
新保 有生
孫 瀟夢
竹井 誠

笙
三浦 はな

箏
西原 祐二
三浦 元則

尺八
饗庭 凱山
大賀 悠司
川俣 夜山
阪口 夕山
田野村 聡
原郷 隆
藤崎 重康
洲上ラファエル広志
三橋 貴風
元永 拓
米澤 浩
渡辺 淳

三味線
杵家 七三
長井 麻江
二代目 三山 貢正
穂積 大志
簗田 弘大

簗田 司郎
守 啓伊子
山崎千鶴子

琵琶
久保田晶子
田原 順子
藤高理恵子

箏
石井 香奈
伊藤麻衣子
岡山 亮子
久東 寿子
熊沢栄利子
桜井 智永
佐藤 里美
島崎 春美 ※
城ヶ崎美保
久本 桂子
丸岡 映美
三宅 礼子
森 真理子
山田 明美
喜羽 美帆
渡辺 正子

打楽器
臼杵美智代
尾崎 太一
島村 聖香 ※
多田 恵子
富田 慎平 ☆
山内 利一
盧 慶順

指揮
稲田 康
田中 元樹
田村 拓男
苦米地英一

作曲
相澤 洋正
秋岸 寛久
川崎絵都夫 ※
篠田 大介 ※
高橋久美子
福嶋 頼秀

アートマネジメント
大西 愛子 ※

楽器・舞台
中島 隆

名誉代表
田村 拓男

代表
尾崎 太一

副代表
米澤 浩

事務局
中山美穂子

永久名誉団員
長澤 勝俊

☆印は新入団員
※印は休団中
2021年9月現在

◆沈琳(Shen Lin)二胡



中国揚州市出身。揚州大学音楽学科卒業。元南京芸術学院大学楊易禾教授に師事。幼少時より二胡を始め、12歳で初来日し日中友好特別演奏会等で二胡の難曲「二泉映月」を演奏。19歳の時、フランス・シラク大統領の訪中時、江沢民前総書記主催の歓迎会で独奏。

2005年に演奏家及び二胡講師として来日し、TBS唐招提寺プロジェクトで奈良唐招提寺の落慶法要で独奏。

2015年6月、台湾で制作したアルバムが台湾金曲賞・最優秀アルバム録音賞を受賞、2017年6月は福島や石巻で、7月は北海道猿払村にて演奏。9月は韓国の龍仁で開催の韓中日歌舞楽ファンタジアに出演、10~12月は笑福亭鶴瓶師匠の落語会でゲストとして演奏と幅広く活動。

自身のCDは「私のお気に入り、夏の薫り、舞、彩苑」をリリース。セカンドアルバムの「小河淌水」は2013年11月~12月まで、「ストレンジインパラダイス」は、2014年5月~6月までの2ヶ月間、JAL国際線の機内オーディオで使用された。彼女の代名詞でもある「女人花」のYouTubeのアクセス数は316万を超える。現在、二胡教室を横浜市各地や茨城県で主宰しながら、自身のコンサートを青葉区民文化センターなどで開催している。

和楽器オーケストラ邦楽合奏団「鼎」

1978年12月に京都で結団式を行い、現在は大阪を拠点に活動しています。流派の垣根を超え現代の日本音楽を演奏する団体として創立43年の歴史を持ち、長沢勝俊先生、三木稔先生の楽曲を始め、多くの委嘱曲にも取り組む現代邦楽の演奏グループです。年1度の定期演奏会の他、団員各自が小グループを組んで演奏活動を行いつつ、演奏技術や音楽性の向上を目指しています。



舞台・運搬:株式会社IMS
舞台・受付:田波楽器株式会社
撮影:宮崎 登
録音:福嶋頼秀
プログラムデザイン:藤山俊男・森 有加

◆ 賛助会員へのお誘い ◆

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したことを機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

会費(年会費)

個人会員 10,000円(一口以上)

法人会員 30,000円(一口以上)

(年間3回の定期演奏会への招待状を毎回ご送付)

賛助会員(口数・50音順)

【法人会員】

日凸運送株式会社

【個人会員】

山本福八 伊藤美好 伊藤憲夫 柿崎やよい
佐藤玲子 高倉尚子 友杉 毅 奈良英子
西川浩平 堀 保之 三宅一徳 元永明希
元永美代子 森 繁美 (他 2名)

詳細は日本音楽集団事務局までお問い合わせ下さい。
またホームページでも、お申し込み方法など
詳しくご案内しております。



日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1F
TEL:03-3378-4741 FAX:03-3376-2033
HP:http://www.promusica.or.jp